

小学校高学年・中学生向けプログラムの開発

子どもたちは幼児期や小学校入学後の交通安全教室で、交通安全の知識や事故に遭わないための安全行動を学びます。そこで身につけたことを、それ以降も実践することの大切さに気づいてもらうため、今年小学校高学年・中学生を対象とした新たなプログラム「将来 社会で活躍する君たちへ」を開発しました。



鹿児島市立荒田小学校での交通安全教室

「“している”から、“している”へ」を実践してもらうために

今年9月より、小学校高学年・中学生向けプログラム「将来 社会で活躍する君たちへ」が全国各地の交通安全指導者に活用されています。

鹿児島県鹿児島市の交通安全指導者は、同市立荒田小学校の児童を対象にこのプログラムを使った交通安全教室を開催しました。

小学3～6年生を対象に本編「自転車」を活用。一時停止標識を無視して止まらずに交差点内に進入した自転車が、右側から来たクルマと衝突してしまうなど、ルール・マナー違反が事故につなが

る映像を見てもらい、どのようにすれば事故を防げたのか児童に問いかけ、意見を引き出します。そして、解説編では、自転車利用者の目線で撮影した映像を使って「止まる」ことの大切さを解き明かしました。解説編の最後に、「“している”から、“している”へ」というメッセージが映し出され、指導員が、事故に遭わないためにも道路を歩く時、自転車に乗る時は、皆さん一人ひとりが知っているルールやマナーを守って行動してほしいと呼びかけました。今後、小学校高学年・中学生の交通安全教育の充実につなげていただけるよう、全国各地にこのプログラムを普及していきます。

交通安全指導者の声



短い映像のなかに守ってほしいルール・マナーが凝縮されているので、子どもたちが飽きずに集中して見るができます。そして、映像を見るだけでなく、子どもたちが危険を見つけて、みんなの前で各々の意見を述べることで、事故に遭わないようにするためにはどうしたらいいか、自らが考えられる点が良いと思います。また、子どもたちとコミュニケーションをとりながら進めることができる点も効果的だと感じました。

受講した児童の声



★DVDを見て、街中には危険なことがたくさん潜んでいて怖いと感じました。普段、自転車によく乗るので、クルマの動きに十分に注意したり、人の多いところでは降りて押し歩きしようと思います。(小学6年生・男子)
★いろいろな事故の場面が出てきたので、事故に遭わないようにするには、自分がどう対応すればいいか考えることができました。今日、学んだことを普段できるようにしたいと思います。(小学6年生・女子)

学校長の声



どれだけ知っていても、行動に移さなければ意味がないということ子どもたちはこのプログラムを通じて、理解を深めました。ルールやマナーを守ることが他者への思いやりにつながることを示唆する内容になっている点も良かったと思います。

ルール・マナーを守ることの習慣化をめざす

今年新たに開発した小学校高学年・中学生を対象としたプログラムには、社会生活を豊かに送る上での基本である「ルール・マナーを守り、習慣化させる」ことにより、次代を担う子どもたちが交通安全を自分事ととらえ、事故に遭わないようにしてほしいという想いを込めています。

プログラムは導入編と本編で構成(下記参照)。本編は「歩き」

「自転車」「標識」の3つのテーマからなる映像教材となっています。それぞれ単独で選択できるため、交通安全指導者が学校などの要望や実施時間に応じて組み合わせをアレンジできるようになっているとともに、場面ごとに子どもたちに問いかけながら進める対話型構成になっているのが特徴です。

プログラム概要

導入編

HondaJet



HondaJet やSuper Cubなどの1枚の静止画が時間とともに変化し、そのポイントを見つけてもらうというもので、これから始まる交通安全教室への関心や集中力を高める役割を果たします。

Super Cub

サッカーワールドカップ

交通社会にも通ずる周りへの気遣いや思いやりの大切さを感じてもらうため、2018年サッカーワールドカップで日本人サポーターが試合後、自発的に観客席のゴミ拾いをしたエピソードを紹介しています。

本編

歩き 問題編 解説編

問題編では守るべきルール・マナーについて、危険予測や他人への配慮の観点から起こり得る事故やその影響について考えます。小学生や中学生が歩行中、自転車乗中にやっと思いながらルール・マナー違反の映像を見せた後、指導者が子どもたちに問いかけ、いろいろな意見を引き出しながら進められるようになっています。



左右の安全確認をせずに飛び出す



一時停止をせずに交差点に進入

解説編では飛び出しの危険性と止まること、確認することの重要性を説明。これに加え、「自転車」では「安全な走行」として、法規に則った模範運転を映像で確認できるようになっています。



クルマが予想以上に速く近づいてくることを示す



停止線の手前で止まり、左右を観るなど正しい方法を示す

標識

標識の種類

生活の身近にある道路標識が「何を伝えているのか?」「なぜ守らなければいけないのか?」考えるきっかけを与えるためのものです。



動物が飛び出すおそれあり



全国各地の珍しい動物標識や、知っておくべき7つの標識を紹介